



稲城市体協

稲城市体育協会
 行 電話 0423(78)2111
 電 内線(620)
 編 稲城市体育協会
 集 広報委員会
 行 昭和59年4月1日
 日 第14号

創設 稲城市体協15周年を迎えた 着実な進歩の跡

体育協会は、昭和43年に設立されて以来、昨年11月で満15周年を迎えた。

当初、僅か数百名だったスポーツ人口も現在では13団体、5000名を数えるに至っている。

本協会も『市民が丸く輪になり手をつないだ姿』をデザインした協会マークと、『体力づくりの輪を広げよう』のテーマを基本として、スポーツ及び、レクリエーションの普及、振興に努めてきた。市内各所で、スポーツを楽しむ姿を見られるのも、こうした姿勢が地域に根づき開花しようとしているものと思ふ。

協会が、今日を迎えられたのも先輩方々、賛助会員としてご協力して下さる多くの市民の皆様のお力添えと深く感謝している。



▶第15回市民体育大会開会式より

▶そよ風になびく体協旗(都民体育大会より)

「スポーツ人口も10倍を超える」

15周年を祝して

稲城市長 森直兄

このたび稲城市体育協会が設立15周年を迎えられるにあたりまして、一言お祝いを申し上げます。戦後まもなくのことで、本市が稲城市や稲城町であったころ、たいていへんにスポーツが盛んでして、旧南多摩地区の青少年を中心にした競技会がしばしば開かれておりましたが、この中で本市の代表は優秀な成績をあげていたのでございます。

こうした時を経て、稲城市体育協会が昭和四十三年十一月に設立され、以来本市の体育・スポーツ、

さらにはレクリエーションの進歩あるいは普及、振興に大きくご貢献をいただいたところでございます。今日では加勢団体が13を越えるなど、めざましく発展されてまいりました。これもひとえに、役員さんをはじめ、会員各位のスポーツ振興に対する熱意の賜でございます。心から感謝を申し上げます。心から感謝を申し上げます。また、私自身もこの体育協会の設立当時から参加させていただいてきた経緯もございます。このたびの15周年は、このように感慨深いものがござります。

さて、体育やスポーツは、からだを動かすことにより、私たちの気分を和らげ、明日への活力を与えてくれますが、それ以外にも相互の理解、さらには地域連帯の場を広げるほか、健康の増進など多くの効用があると言われております。

しかしながら、現在のスポーツ環境はなかなか厳しくなってきたと思っております。以前ですと身近にあった空地や運動のできる広場も、おし寄せられる都市化の波の中で、次第に少なくなつてまいりまして、青少年の体力が低下してきたことが特に注目されております。

私たちの健康なからだ、そしてそのからだを維持していくのもが体力ですが、こうした基礎となる体力を養うには適度な運動と休養がその中心となることは、今さら

申し上げるまでもなく、健康なからだがあるところ、そこには健全な精神が宿るといふことも事実でございます。こうした意味で、稲城市体育協会の皆様による期待は、ますます大きなものとなってきております。

本市といえども、今後とも教育委員会と連携のもと、市内いっばいにスポーツの輪を広げるため、いっそう積極的に体育・スポーツ施策の推進、さらには体育施設の充実のため努めていきたいと考えております。

どうか稲城市体育協会の皆様方におかれましては、今後ともご自愛のうえ、さらに本市の体育、スポーツ発展のため、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。貴会がますますの発展をお祈りし、お祝いのごとくいたします。

体育協会15年のみちのり

- 昭和43年11月 7日、稲城市体育協会発足、初代会長 森直兄氏選出される。
- 軟式野球、サッカー、バレーボール、卓球、軟式テニス、剣道、バドミントン、の7団体が加盟でスタート。
- 44年11月 体育協会主催で7種目の大会開催される。
- 45年5月 都民体育大会に、南多摩郡代表で、バレーボールチーム出場。
- 46年5月 第一回、町民大会、体協主催のもとで開かれる。
- 47年5月 都民体育大会春季大会
- 48年3月 サッカー、バレーボール、剣道、卓球の各競技に参加、サッカー体協発足3年目で堂々3位入賞する。
- 48年3月 市町村総合体育大会、バレーボール、剣道、卓球の各競技に参加。
- 48年3月 稲城市体育協会から稲城市体育協会に改名。
- 47年5月 川崎盛次氏、体育協会々長に就任。
- 47年5月 体育協会の規約改正。
- 48年3月 加盟に関する規定、会費納入に関する規定、新設及び改正される。
- 48年3月 スキー、空手道連盟体協に新加盟。
- 48年3月 体育施設について、市長との懇談会の開催。
- 48年3月 第一回春季スポーツ大会開かれる。各連盟、7団体。
- 48年3月 第26回、都民体育大会に126名参加。
- 48年3月 第17回、市町村総合体育大会、4種目42名参加、空手道競技初参加。
- 48年3月 第5回、市民体育大会、参加者2000名超える。
- 49年3月 体協収支予算100万円突破する。
- 49年3月 都下、市町村体育関係者幹部研修会に参加。
- 49年3月 9団体の連盟旗出立する。
- 49年3月 第2回、春季スポーツ大会、参加者1000名突破する。
- 49年3月 東京都体育協会加盟認定される。
- 49年3月 体育協会賛助会制度が体協評議員会で採択される。
- 49年3月 第27回、都民大会に於いて、サッカー競技、強豪地区を破り堂々第3位に入賞。
- 49年3月 第8回、市町村総合体育大会に於いて、剣道競技堂々第3位に入賞。
- 49年3月 射撃、硬式テニス、△気道連盟仮加盟団体として承認される。
- 49年3月 体協副会長に、白井威氏選出される。
- 49年3月 体育協会、会費納入に関する規定の一部改正、個人競技を主とする団体1人3000円に、団体競技を主とする団体1人3000円に改正。
- 49年3月 第28回、都民大会に於いて、サッカー競技ベスト8進出、剣道競技堂々6位、射撃競技初参加。
- 49年3月 体育協会報発行に伴う編集委員会が、白井威副会長以下5名で開かれる。
- 49年3月 第9回、市町村総合体育大会(青梅)に於いて剣道競技5回戦勝ち抜き優勝、水泳競技初参加。
- 49年3月 体育協会報「体協稲城」第1号発行される。
- 49年3月 第7回、市民大会、参加者2800名突破、14種目。
- 49年3月 体育協会幹部研修会開かれる。「読売の宮クラブ」参加者12名。
- 49年3月 硬式テニス、射撃連盟正式加盟団体となる。
- 49年3月 第4回、春季スポーツ大会に硬式テニス、射撃競技、公式種目として初参加、十種目2000名参加。
- 49年3月 都下体育協会連合会に加盟する。
- 49年3月 理事、高橋大助氏、評議員、川崎盛次氏、石黒実氏、白井威氏。
- 49年3月 体協シンボルマーク決まる。稲城市市民の輪。
- 49年3月 第29回、都民大会10種目、155名が参加、剣道競技第8位入賞、バレーボール(男子)8位入賞、サッカーベスト8進出、馬術競技初参加。

体協表彰 行われる!

- 功労者・優良団体 -

去る三月四日第十一回稲城市ス

ポーツ大会開会式において、加盟
団体の育成に寄与された方、及び
体協発展に寄与された団体が表彰
されました。

軟式野球連盟

国分淳一さん

国分さんは、連盟常任理事、審
判部長として、審判員の技術向上
と指導に努められ、各大会におい
て自らも審判員として活躍し、そ
のジャッジには定評があり、上部
大会の審判員も努めております。

バレーボール連盟

木村和子さん

木村さんは、ママさんバレーが
導入されて以来、家庭婦人の普及

推進に努められました。
現在もバレーボール連盟常任理事
長、体協幹事として連盟、協会の
発展、育成に尽力されています。

サッカー連盟

福島栄治さん

福島さんは、サッカー連盟発足
当時より、チーム、組織作りにな
り、一方では選抜チームの監督と
して優秀な成績をおさめているの
は周知のことです。現在も理事長
と監督の両立で活躍中です。

空手道連盟

沢 千登士さん

沢さんは、空手道連盟が体協に
加入以来各大会の運営に努力され
昭和57年度の都民体育大会の本部
運営委員も努められました。
現在は副理事長として空手道普
及に全力をこめておられます。

サッカー連盟

稲城市サッカー連盟は、先の第
三十三回都民体育大会において、
優勝された功績と、連盟運営方法
が他団体より優れていると評価さ
れました。

故川崎前会長に 感謝状

去る昭和五十五年五月にご逝去
されました。故川崎盛次前会長は
体協発足と発展にご尽力されまし
た。本年体協創設十五周年を迎え
るにあたり、第十二回スポーツ大
会開会式会場において、感謝状を
贈り故人のご功績を称えました。



射撃強し

第17回市町村大会

八月七日、国立市民総合体育館
をメイン会場として、十一種目を
二十九市町の代表選手三千六百名

によって行われた本大会に、当市
は八種目百二十名の役員、選手を
派遣し熱戦をくりひろげ、クレ
ー射撃大会においてトラップの部で
優勝、総合でも三位の成績をおさ
めました。各種目の結果は次のと
おりです。

卓球 男子
一回戦対東久留米市 二対三
卓球 女子
一回戦対沼田市 二対三
空手道
一回戦対羽村町 三対二
一回戦対府中市 一対四
バレーボール 男子
一回戦対武蔵村山市 〇対二
バレーボール 女子
一回戦対秋川市 二対〇
一回戦対昭島市 〇対二
バドミントン 男子
一回戦対三鷹市 一対二
バドミントン 女子
一回戦対瑞穂町 〇対三
剣道
一回戦対町田市 二対三
軟式テニス
予戦リーグ 一勝一敗
クレール射撃
トラップ 優賞
スキー
総合 三位

来年に期待

東京都青年大会

九月四日、九月十二日、多摩ス
ポーツ会館及び駒沢屋内球技場
において行われ、当市よりバレー
ボール男子、バスケットボール男
子の両チームを派遣しましたが、
両チーム惜しくも一回戦で涙を吞
みました。

バレーボール男子

一回戦対渋谷区 〇対二
バスケットボール男子
一回戦八王子市 三十八対百七

さあスタート!

第12回稲城市スポーツ大会

本年は、近年にない大雪に見舞
われ、開会式も中央文化センター
ホールで行うことになりましたが、
当日は体協十五周年を祝うかのよ
うな陽春にめぐまれ、十一団体五
千余名の選手の代表者が出席し、
松浦理事長の開会宣言により開幕
しました。

第15回 稲城市民体育大会 競技結果報告!!

九月四日、秋晴れの南山スポ
ーツ場で盛大に総開会式を行い、
大会の幕が切って落とされました。
今大会は十二競技団体で六十三
種目が、市営体育施設及び市内小
中学校体育館、校庭で熱戦がくり
ひろげられました。又本年はバ
レーボール連盟の協力を得て、誰で
もできるスポーツ「インテアカ」を
行い、多数の参加が得られました。
各種目栄光の優勝者(団体)は、
次のとおりです。

九月四日、秋晴れの南山スポ
ーツ場で盛大に総開会式を行い、
大会の幕が切って落とされました。
今大会は十二競技団体で六十三
種目が、市営体育施設及び市内小
中学校体育館、校庭で熱戦がくり
ひろげられました。又本年はバ
レーボール連盟の協力を得て、誰で
もできるスポーツ「インテアカ」を
行い、多数の参加が得られました。
各種目栄光の優勝者(団体)は、
次のとおりです。

男子ダブルスA 貫井・藤生組
男子ダブルスB 杉本・松尾組
女子ダブルス 竹花えい子
女子ダブルス 渡辺・内藤組
☆剣道
小学四年以下 池田 肇
小学五年 中山友仁
小学六年 山口 剛
中学一年 浜田義久
中学二・三年 若山泰輔
一般男子 山川喜穂
☆卓球
一般男子 吉田吉徳
男子シングルス 飯田修彦
男子ダブルス 田中芳昭

男子シングルスA 飯田修彦
男子シングルスB 田中芳昭

壮年男子 荒田洋司
ジュニア 高橋孝太
男子A 戸瀬・宮沢組
男子B 菊池・金野組
女子A 三浦・林組
女子B 柴田・萩野組
中学女子 渋谷・河野組
☆バドミントン
男子一部シングルス 今村 浩
男子二部シングルス 久保新治
女子シングルス 松本洋子
壮年シングルス 星野勝雄
男子ダブルス 奥村・沢山組
女子ダブルス 山岸・杉山組
☆クレール射撃
トラップ 竹花純夫
スキー 福田勝次
☆サッカー
小学五年 梨花サッカー
小学六年 梨花サッカー
クラブA

小学五年 梨花サッカー
小学四年 梨花サッカー
小学二・三年 梨花サッカー
小学一年 梨花サッカー
中学男子 梨花サッカー
中学女子 梨花サッカー
一般男子 梨花サッカー
一般女子 梨花サッカー
小学生(高学年) 梨花サッカー
小学生(低学年) 梨花サッカー

小学五年 梨花サッカー
小学六年 梨花サッカー
小学二・三年 梨花サッカー
小学一年 梨花サッカー
中学男子 梨花サッカー
中学女子 梨花サッカー
一般男子 梨花サッカー
一般女子 梨花サッカー
小学生(高学年) 梨花サッカー
小学生(低学年) 梨花サッカー

一般 田中貞明
中学生 大場賢二
小学生 須藤政命
☆バスケットボール
一般男子 講義会
一般女子 富士通機電
中学男子 第三中学校
中学女子 第三中学校
☆軟式野球
一般一部 富士通南多摩
一般二部 電設機器
二部 グリーンズ
少年一部 ジャガーズ
二部 坂浜A
三部 平尾ジュニアA
☆ソフトボール
一般男子一部 多摩リベース
一般男子二部 ワンダース
二部 富士通
壮年男子 キングリベース

一般 田中貞明
中学生 大場賢二
小学生 須藤政命
☆バスケットボール
一般男子 講義会
一般女子 富士通機電
中学男子 第三中学校
中学女子 第三中学校
☆軟式野球
一般一部 富士通南多摩
一般二部 電設機器
二部 グリーンズ
少年一部 ジャガーズ
二部 坂浜A
三部 平尾ジュニアA
☆ソフトボール
一般男子一部 多摩リベース
一般男子二部 ワンダース
二部 富士通
壮年男子 キングリベース

一般 田中貞明
中学生 大場賢二
小学生 須藤政命
☆バスケットボール
一般男子 講義会
一般女子 富士通機電
中学男子 第三中学校
中学女子 第三中学校
☆軟式野球
一般一部 富士通南多摩
一般二部 電設機器
二部 グリーンズ
少年一部 ジャガーズ
二部 坂浜A
三部 平尾ジュニアA
☆ソフトボール
一般男子一部 多摩リベース
一般男子二部 ワンダース
二部 富士通
壮年男子 キングリベース

昭和51年8月 第10回、市町村大会、バレーボール(男子)第2位、軟式テニスベスト8、卓球第3位、剣道第2位、水泳競泳50m第4位入賞、陸上競技500m、5000m出場、稲城市総合第10位

9月 第8回、市民大会、参加者3000名突破

11月 体協協会幹部研修会で都立多摩スポーツ会館見学する。

12月 第1回、稲城市大会開催、参加10チーム、市内コース

3月 ソフトボール、バスケット連盟取組

5月 市町村軟式野球大会、三多摩クラブサッカー選手権、稲城市主管で開かれる。

6月 評議員会に於いて規約一部改正される。

9月 第9回、市民大会、参加者3000名突破

11月 都体協創立30周年記念式典参加(笹川記念会館)川崎市長以下、6名出席、感謝状送られる。

稲城市体育関係者交流ソフトボール大会に参加

3月 第3回市民体力づくりマラソン大会開催

3月 スキースクールの集いを開く(万座)スラローム大会開催(スキー連盟)

5月 第6回、春季スポーツ大会参加者、3000名突破

7月 臨時職員(事務員)を採用し事務局長制度を発足

9月 第12回、市町村大会に於いて、競技種目初の優勝を稲城市にもたらした。

10月 第10回、市民大会参加者、4000名突破

11月 第3回市民体力づくりマラソン大会開催

12月 体協創立10周年、役員表彰、感謝状、一般表彰送られる。

1月 第7回、春季スポーツ大会に於いて初のレクリエーション種目登場、壮年ソフト、レクレーションバレーボール、オリエンテーリング。

2月 第32回、市民大会、12種目、172名派遣、ソフトボール(女子)3位決定戦で惜敗、第4位入賞

3月 第13回、市町村総合体育大会(小平市)7種目115名派遣、バレーボール女子準優勝、卓球ベスト8、射撃個人トラップ第3位、吉野組。

4月 第11回、市民大会4000名参加

5月 東京都教育委員会より、社会体育優良団体として表彰される。

6月 都民体育大会実行委員会、岸記念体育会館、高橋理事長出席

7月 第8回、スポーツ大会参加者、4000名突破

8月 体協規約一部改正する。

9月 第33回、市民大会、結団式(消防署)11種目200名派遣

10月 第14回、市町村総合体育大会(国分寺)8種目127名派遣

11月 体育協会関係者研修会(飯山温泉)

12月 第5回、市民大会開催、押立高回コース、65チーム325人参加

1月 第9回、スポーツ大会開催、12種目4200名参加

2月 第34回、市民大会開催、11種目213名、各競技優勝

3月 体協役員改選

4月 第34回、市民大会開催、11種目213名、各競技優勝

5月 体協役員改選

6月 第13回、市民大会、12種目、レクリエーション部3種目となる。

7月 体協常任理事会(兼山亭)賛助会員について。

8月 第6回、市民体力づくり大会、当日風雨の為中止

9月 体協関係者研修会(消防署)

10月 都下体協研修会(熱海市)、福島、吉野、小林、3氏参加

11月 体協理事会(市役所)、市民体育館建設署名について

12月 第35回、市民大会(消防署)13種目209名派遣、サッカー競技3位決定戦で町田市を取り堂々3位入賞

みんなの 雑記帳



知ってますか インディアカ

石田光広

インディアカといってもあまり耳慣れないかもしれませんが、ここ数年に普及しつつある新しいレクリエーションスポーツのことです。

もともと、南アメリカでトウモロコシの葉を束ねて打ち合っていたのが、一九三〇年代にヨーロッパに渡って今日の型となり、後の一九六八年頃が国にも紹介されたのが最初だそうです。

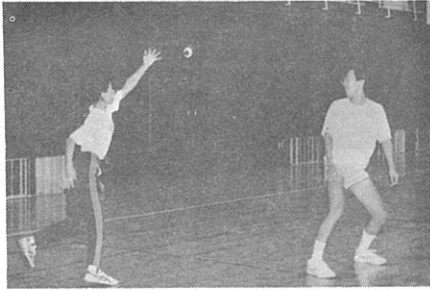
インディアカは競技性の強いスポーツとは異なり、子供から大人まで男女を問わず、ファミリーで楽しめるスポーツです。今後、学校や職場や各地域に普及していくでしょう。詳しいルールはともかく、この魅力あるレクリエーション、インディアカに一度挑戦してみてください。

かがでしよう。

(参考)
インディアカに興味をお持ちの方へ、稲城インディアカクラブでは次のとおりインディアカの練習を行っています。

参加を希望される方はお気軽にどうぞ。
日時 毎週火曜日午後6～8
場所 稲城市立第一小学校 体育館

問合せ 三二一四五〇石田 朝七八二二二一 内一五四



たのむぞ相棒

ゴールは近い

梨花サッカークラブ
大倉 一作

園児の頃、父親の肩車に喜々と

して大きな声で歌っていた。可愛いホッペに小さな口元、大きな声で音程は定かでない。或る者は言葉をかきかきと母親の手にしがみつ

た。練習に打ち込んで「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ」の詩同様に夢中である。親達の心配をよそに、打身、捻挫、手足の骨折等もある中で、それ相応に努力し脱落することなくサッカーボールを追いかけている。自信が目の輝きとなり、行動がダイナミックになり、プレー中時折見せる様々な顔の表情が子供の心を良く反映して、プレーの華麗さと共に見る者をとりこにしてしまふ。

子供の単なる応援ということでは参加する各々の父母達も試合の勝負を気にしながら子供達の動きと技術と闘争心に心うばわれ、だいに子供達の心境になっていく。共に喜び、残念がったりするものも子供と同じ気持ちになってこそ生れるものです。そこに同じ立場に位置する者としての心遣いや励ましが親子の年令を超えて共通の話題となり体験となります。

サッカーを愛する親達がいま、試合場で合う親達は多忙であるが、そこに昔見た頑固オヤジがいたり、働き者で優しい母さん方を見る時安らぎをおぼえます。子供に何が大切か、何が重要かを一人から二人、三人と子供の輪を通じて広がった親の輪、都大会の準決勝で

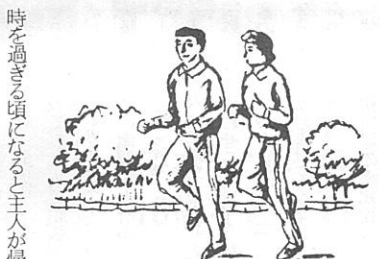
負けした時、控えの選手が目一杯涙をためてくやしがついている光景が印象に残っている。その光景を見て親の目にも涙がにじんでいた。人生の喜怒哀楽を織りなしたサッカーというスポーツに人の生きざまのありのままを見た感じがした。出場している選手も又控えの選手も共に心の中で一緒にプレーできる魅力がありそうです。子供を励ましささえている指導者、他で学べない人との交わり、厳しさ、優しさを混えて教えてくれている。一流選手との語らいの集いを計画し、それを実行に行動し実行した親達、その中心になり実際の計画をした一人のお父さんの姿は公言実行の活きたお手本です。素晴らしい仲間、それは一人一人が心からお互いを好きになる事から始まるようです。試合の勝敗の結果は勿論気になって私には二度とない人生のこの時、この場で親子の共通の思い出なるものが造られる喜びに大いにいたいと思ふ。



夫婦で ジョギング

田崎 トヨ子

時計が3時を打つと私の忙しい午後が始まる。お風呂の火つけ、夕食の下ごしらえ、犬の散歩、四



時を過ぎる頃になると主人が帰ってくる。「お帰りのない。今日走る？」。二カ月前から主人を迎える私の言葉です。

健康を考え、手軽に出来る主人がジョギングを始めたのは六年前。夏の暑い日差しの中、北風の吹く寒い冬、苦悶なことなかば皮肉っぽい眼で見ている私も腹がひっこみ健康になった主人を見たり、友人に勧められた事もあり、走り始めたのが半年前。最初は何かと理由をつけてはさぼったり、また走りながらも「なんでこんな苦しい思いをしながら走るんだらう？」なんて言っていた私もここ二カ月前から変って来た。

ジョギングの魅力は自分なりに見つけられたような気がする。息子の友人に「おばさんがんばって」と声をかけられたり、山道で野菊をつんで片手にもって走ったり、夕焼けの山並みに見とれたり、急な坂道を走りきれると主人に後から押してもらったり、走る苦しさをお風呂で汗を流したあとの食事のおいしい事、でもそれ以上の魅力は、だぶついたせい肉が落ち、少ししまってきた事。そろそろ薄着の季節になる。もう少しがんばってせい肉をとらなくては。

お父さん、私のペースに合わせて走る事は物足りないでしょうが、一人で走るほど勇氣も根性ももち合わせない私にも少しの間協力して下さい。

体力づくりの 輪を広げよう

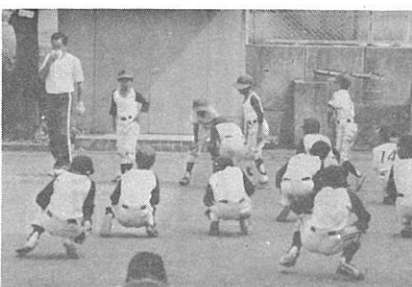
昭和57年6月	市民体育館建設費採択される。高橋理事長他、13446名。
8月	市民体育館建設費採択される。高橋理事長他、13446名。
8月	第16回、市町村総合体育大会(羽村町)8種目120名派遣、バレーボール(男子)堂々3位入賞、射撃競技トランプで堂々優勝。
9月	第14回、市民大会開催、12種目参加約3700名。
9月	スポーツ指導者研修会(日体協、都体協主催)バスケット連動参加。
9月	都下体育協会研修会(熱海市、吉野、山下、小林、3氏参加)。
9月	親子スキー教室開催(長野県)戸狩スキー場、38名参加。
6月	体育協会役員改選、副会長に高橋大助氏、理事長に松浦里行氏選出。
7月	松浦氏体育功労者受賞記念祝賀会及びサッカー都民大会優勝祝賀会。
7月	理事会で白井威前副会長が顧問に委嘱決定。
7月	杉本勇氏、会長推薦理事に決定。
9月	第15回、市民体育大会開催。
9月	東京都青年大会、バレーボール、バスケット参加。
10月	体協後援、バドミントン教室発行なされる。全日本選手り名(稲城3中)慶市規程施行される。
11月	後援者義使用規則施行される。
11月	体協後援卓球教室発行なされる。
11月	体協後援卓球教室発行なされる。
3月	都体協幹部研修会、当市より2名参加(宮東リバサイドスポーツセンター)体協幹部研修会(テニシング講堂)消防署講堂。
3月	第12回、スポーツ大会開催。
3月	第1回、体協表彰行なわれる。
3月	故川崎盛次前会長、バレー連盟(木村和子、空手連盟(宮下登七)軟式野球連盟(関分淳一)、サッカー連盟(福島栄治)、サッカー連盟(都下)体協幹部研修会、当市より4名参加(熱海市)

夢を追って

坂浜少年野球クラブ
監督 清水和男

二月二十六日(日)、雪の降る中三々五々部員が集まってくる。その数二三十人、そして八時には六十名近くになる。八時に練習開始には云っても外は雪よし、今日は体力づくりで行こう。ピロティで始まる腕立てふせ。六年生三十四回、五年生二十回、今更寒がっていた顔に汗が出てくる。そして「腹筋」、「アキレス」等何回もくり返し繰り返していると汗びっしょり。朝降り出した

雪が校庭は真白。明日の練習が少しでも良いグラウンドで出来るようにと昨日五・六年生がグラウンド整備をしたのにな。グラウンド整備も練習のうただよ」と励ましたり、相撲を取ったりしているうちに十一時。練習を終り、部員達が雪の中を家路にと帰る後姿を見送りながら「さようなら、またな。」野球をしていて良かったなとつくづく思う一瞬である。



今から五年位前の事だと思ふが、他のチームの監督から「坂浜チームは強くなるよ」と云っているのを耳にした。その頃は三回コールド負け。校庭の際で指導者のミィティングをしている時に二小の先生に励まされ、父母からのあたたかい言葉を背に受けていた。



監督を受けて三年。夢中で取り組んできた事を昨日のように思い出す。勝つことも大事だが、全員が試合に出ることを目的に練習に練習を重ねてきたかいかあって、

連盟だより

関東大会で準優勝

日本のトップレベルにある関東少年サッカー大会において、梨花サッカークラブが見事に準優勝しました。

この大会は関東地方一都七県からそれぞれ二チームの代表が参加して、八月十三・十四日の両日、暑さ厳しい山梨県甲府市にある県立サッカー場で行われました。東京代表で出場した梨花は、「二試合を相手にせず、準決勝でFC甲府に二対〇で勝ち、決勝戦に進出した。相手は茨城代表の日立サッカー少年団でした。気力をふりしぼって前半は一対一の一進一退の



▲関東少年サッカー大会で準優勝した梨花サッカークラブメンバー(左端、川崎監督)＝山梨県立(甲府)サッカー場にて

みなさんの参加を!!

―卓球連盟―
―山口精一―
過日、卓球連盟では、卓球教室を五小と七小の二会場で開催しました。

両会場共に残念ながら定員に満たない状態でした。もっと多数の人に参加して欲しかったと思います。

しかしその中で気付いたことは、ミセスの方々に多く参加していた

市民スポーツと空手道

―空手道連盟―
―川崎美寿―

明治十年に神奈川から内地に伝えられた空手道は、武道を愛好する日本人の体質に適合し、柔剣道等古くから伝わる武道と同様に普及し発展して来ましたが、

空手道の近代スポーツ化に伴い最近の普及率は、めざましいものがあります。人口比一割程度の普及率にすぎず、他のスポーツに比較してその人口は決して多くありません。

空手は皆様に御存知の通り数多くの流派が存在します。それは空手に対する考え方の相違から来るものであり、ある流派は完全に格闘技として空手と見え、強くあることが至上であると考えます。

又ある流派は反対に空手を精神の錬磨のためのものと見え、それとは、試合は無用のものであると考えるものもあります。

もちろん、この両極端の中間に位置して少しづつ、考え方の異なる流派が数多く存在しています。強くなることを目標にして厳しい鍛錬を重ねるうちに自己陶汰され、逞しい精神力が備わる過程は同じとしても、その求める目的とそのための技術の内容に、僅かずつの差があるのではないのでしょうか。

市連盟は、都空手道連盟を通じて全日本空手道連盟を本部団体として、他市の市や町などでもっと多くの人が地域クラブなどで、いろいろなスポーツを楽しむ、活躍しています。稲城の場合、卓球を例に見ても、非常に参加者が少ないように思われます。

自分の時間を利用して、スポーツを、卓球を、もっと多くの人に広げてもらいたいと思いましたが、行なってもらいたくありません。私達、卓球連盟役員も多くの人が練習に参加出来るような環境を作るようにこれからも、一層の努力をしていきたいと思います。

私達はいつも健康です。市民大会で模範演技をする選手

雪なんかふりはせ

―軟式野球連盟―
―柴田健雄―

今冬は記録的な数度の降雪に祟られながらも、冬期使用可能な一面を驚異的な復元力でもって守ってきたのは、「ほとんど病氣」の一語に表わされる軟連の女性の執念でした。

昔から、軟連のテニキチと云われる人はコートに可愛がられたものです。特に、一昨年前に他界された倉本さんはそれはそれは通り一遍の傾注ぶりではありませんでした。六十歳を過ぎては全園大会に出場していたが、シャベルを使

この方針に従い、練習や競技による負傷や事故を心配する必要もなく、安心して参加できるスポーツとしての空手道を修得する楽しさを、一人でも多くの青少年に知って頂くこと、私達空手道連盟の指導者は努力しています。

その過程で武道の精神に触れることにより、逞しい精神力が培われることを願っています。

近接地区の小学生とバレーボールで友達の輪を結ぶ、第二回稲城市近接地区小学生バレーボール大会(バレーボール連盟主催、教育委員会、体育協会後援、大沢スポーツ協賛)が、七月三日(日)市立第五・八小体育館で行なわれた。

早朝より雨の降り続く中、メイジ会場の八小には、昨年優勝のジュニアエイトをはじめ、市内は勿論、府中・多摩・狛江より十七チーム、二〇〇名の選手が参加。Jrエイト副将橋本選手「小学生らしく、一生懸命プレーします」との宣誓によりゲームは開始された。

優勝までには五試合を勝抜かなければならず、また、新学年によ



も倉本イズムで指導されてきた訳でありますから、コートに不敬にも凶々しくも闖入した情らしい雪を忍ぶうちに打ち払ったのは云々でもありません。

でもあたるかな? サアコイ

現に、審判の充実を一番とし、ルールあつてのスポーツが出来るように努力しています。今後は、中学生、小学生の底辺の拡大を目標に皆様の良いアドバイスをお待ちしております。

来年は五市大会(稲城・多摩・八王子・日野・町田)が稲城市主管で開催が決まっております。親睦の中に技の見せ合いも必要です。今年には皆さんの練習に一層の努力を期待し、五十九年度から新しく指導部をもち、新チーム結成時の指導にあたらせる所存です。一チームでも多くの参加を期待しております。

セットの末、初優勝を遂げた。この大会を願って、勝敗も大切ではないが、日頃、顔を合せない他市の選手との親睦と交流を第一の目的として開いた大会であり、試合の間には、選手同志、監督と選手、また旧交を温める指導者など随所にこの光景が見られ、我々、主催者として本大会を実施した意義は高かったと思つた。

そして、市内ジュニアチームの指導者の意欲、和を大切にす指導の導きが感じられた。日程を調整して会場を提供して下さいました。五小・八小には心から感謝いたします。

最後に、大会関係者としては青少年育成の一環として、今後更に発展するよう努力すると共に、関連セクションの一層の協力をお願いいたします。

明日に向けて

―ソフトボール連盟―
―花山弘樹―

連盟発足より六年を過ぎまして今日まで来られたのも、ソフトボールの魅力に魅せられた人々の集まりで、やりたい、やらせたいの一念で本来の自分の仕事を立派にこなして、僅かな余暇を利用して、ソフトボールの振興に頑張っている次第です。

現に、審判の充実を一番とし、ルールあつてのスポーツが出来るように努力しています。今後は、中学生、小学生の底辺の拡大を目標に皆様の良いアドバイスをお待ちしております。

来年は五市大会(稲城・多摩・八王子・日野・町田)が稲城市主管で開催が決まっております。親睦の中に技の見せ合いも必要です。今年には皆さんの練習に一層の努力を期待し、五十九年度から新しく指導部をもち、新チーム結成時の指導にあたらせる所存です。一チームでも多くの参加を期待しております。

セットの末、初優勝を遂げた。この大会を願って、勝敗も大切ではないが、日頃、顔を合せない他市の選手との親睦と交流を第一の目的として開いた大会であり、試合の間には、選手同志、監督と選手、また旧交を温める指導者など随所にこの光景が見られ、我々、主催者として本大会を実施した意義は高かったと思つた。

そして、市内ジュニアチームの指導者の意欲、和を大切にす指導の導きが感じられた。日程を調整して会場を提供して下さいました。五小・八小には心から感謝いたします。

最後に、大会関係者としては青少年育成の一環として、今後更に発展するよう努力すると共に、関連セクションの一層の協力をお願いいたします。

試合は、初出場の南鶴牧がフル

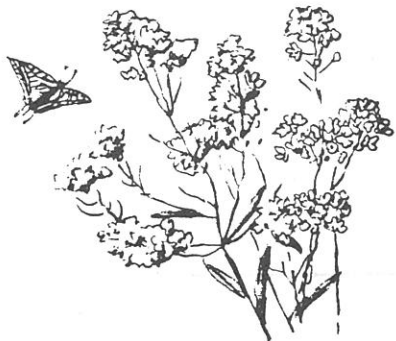
編集後記

体育協会が創立して今年で十五年を迎えました。今回の体協だよりには、十五周年記念として、創立以来の体育協会の歩みを紹介しました。一年一年と組織も充実し、また、各種の大会ですばらしい成績を残してきました。皆さんの努力の結晶です。

大はよろこびかけまわす。今年のは雪のあたり年、寒さも特にきびしい。その寒さの中、夜おそくまでカンパリました。

原稿を寄せていただいた皆さんありがとうございました。

体協テーマ
『体力作りの輪を広げよう』



編集委員長

高橋 忠雄

委員 高橋 大助

須藤 正博

齊藤 博

柴田 健雄

伊勢川 岩根

野島 茂

細田 道成